

4 小さな気づきやギモン？

気軽に相談してください！

こんなこと相談してもいいのかな？

と思ったら…

「ちょっと気になる」を一人で悩まずに、まずは身近な乳幼児相談窓口や園に相談してみましよう。



園での集団活動の中では、家では見せないお子さんの様子が見られることがあります。先生方に園での様子を聞くことはとても大切です。

相談することで考えを整理したり、解決の糸口を一緒に見つけたりしましょう。

他にも、いろんな機関が

あなたの子育てを応援しています。

5 子育てについての相談機関窓口はコチラ

私たちも応援します！

子育てについて一緒に考えましょう。

☆発達や子育てに悩んだら…

- ・砺波市健康センター (0763)32-7062
- ・砺波市こども課 (0763)33-1120
- ・小矢部市健康福祉課 (0766)67-8606
- ・小矢部市こども課 (0766)67-8603
- ・南砺市保健センター (0763)52-1767
- ・南砺市こども課 (0763)23-2010

☆発達に関する専門機関は？

- ・富山県リハビリテーション病院・こども支援センター (076)438-2233
- ・高岡市きずな子ども発達支援センター (0766)21-3615
- ・わらび学園 (0763)22-6055

☆その他の相談機関

- ・富山県砺波厚生センター (0763)22-3512
- ・富山県砺波厚生センター小矢部支所 (0766)67-1070
- ・富山県高岡児童相談所 (0766)21-2124
- ・富山県立砺波学園 (0763)37-0157
- ・障がい者サポートセンターきらり (0763)33-1552

ご家族の笑顔とお子さんの笑顔はつながっています

〈発行〉砺波地域障害者自立支援協議会 障害児部会
〈監修〉富山県リハビリテーション病院・こども支援センター

小児科医 宮森 加甫子

〈発行日〉令和4年4月1日

子育て応援ナビ

みんなで育てよう となみ野っ子の
子どもは大切なたからもの



今日からできる

子育てワンポイントアドバイス

1 子どもの発達で気になる行動を見つけたら…

子どもが何に困っているかよく見てみましょう

気になる行動はいつから？
家の中・外ではどうかな？

健診の場で保健師さんに相談してみよう！
園の様子を先生に聞いてみよう！

関わり方を知りたい！
専門的な話も聞いてみよう！

相談してよかった!!

2 子育ての小さなギモンありませんか？

0歳～1歳ごろ

- ・抱っこすると反り返る。
- ・激しく泣く。



- ・人見知りしない。
- ・あやしても喜ばない。
- ・反応が薄い。

1歳～3歳ごろ

- ・落ち着きがない。
- ・走り回ったり高い所に登ったりしたがる。
- ・つま先歩きをする。
- ・手をつなぐのを嫌がる。
- ・視線が合いにくい。
- ・回転するものを見るのが好き。
- ・同じ質問を繰り返し言う。



- ・環境の変化に弱い。
- ・偏食が強い。
- ・一人遊びが多い。
- ・遊具に合った遊びができない。
- ・特定の音に敏感。
- ・指差しで伝えない。
- ・他の子に興味がない。

3歳～6歳ごろ

- ・こだわりが強い。
- ・好き嫌いが激しい。
- ・お友だちと遊べない。
- ・予定が変わると混乱する。



- ・会話が成り立ちにくく一方的に話す。
- ・順番が待てない。
- ・集団行動が苦手。
- ・手先が不器用。

3 今日からできる大切なこと

○生活リズムをととのえましょう

生活リズムをととのえようと、日中の活動意欲が向上し、精神的にも安定します。朝、起きる時間を決めて朝の光を浴びて、朝食で脳と身体を目覚めさせましょう。



○伝えたいことは耳・目からの情報で知らせてあげましょう

お子さんの興味関心に合わせて言葉を掛けていきましょう。言葉だけで伝わりにくい時には、絵や写真を見せながらお話するとわかりやすいでしょう。



○行動をほめてのばしましょう

ほめる時は好ましい行動に注目し、具体的な言葉で伝えましょう。

表情・体・声・視線は？

①視線を合わせて ②その時その場で ③心からほめる

タイミングは？

- ①してほしい行動をはじめたとき 例えば・「ズボン、はいてるね！」
- ②してほしい行動の途中で・「ズボン、ひざまで上げられたね！」
- ③してほしい行動ができたとき・「ズボン、はけたね！」

○様々な刺激が入る遊びを取り入れましょう

感覚（聴覚・視覚・味覚・触覚・嗅覚など）が入る遊びを通して、身体のイメージや手先の器用さ、姿勢を保つ能力を育みましょう。

○かんしゃくには、落ち着いて対応しましょう

- ①お子さんの気持ちを聞き、共感しましょう。
- ②気持ちや行動がおさまったら「がまんできたね」と認めましょう。

少しでも気になることがあったら、気軽に相談しましょう